

平成29年度

教育委員会定例会
(10月)



まっすぐかのや

平成29年10月10日(火)

鹿屋市教育委員会

会議日程

日 時 平成29年10月10日（火） 午後3時
場 所 教育長室

- 1 開会
- 2 前回議事録の承認
- 3 教育長及び委員の報告
- 4 議事
- 5 報告
 - (1) 鹿屋市議会9月定例会の一般質問について (P 2)
 - (2) 鹿屋女子高等学校活性化推進の取組状況について (P 10)
 - (3) 看護専門学校の職員採用について (P 12)
 - (4) 学校における芸術鑑賞事業について (P 13)
- 6 動議の討論等
- 7 その他
- 8 閉会

報告(1) 鹿屋市議会 9月定例会の一般質問について（教育委員会関係）

1	【件名】 平和教育について	議員名	【個人】 福崎
<p>【質問の要旨】</p> <p>○ 本市は貴重な戦跡や鹿屋航空基地史料館などがあり、平和教育がしっかりできる地域だと思うが、学校での取組を示されたい。</p>			
<p>【答弁の要旨】</p> <p>○ 平和教育は、各学校において、すべての教育活動を通して行う必要があることから、全体計画を作成し、各教科、学校行事等、様々な活動の中で行っている。</p> <p>○ 具体的には、</p> <p>①戦争遺跡や鹿屋航空基地史料館の見学を通じた平和学習</p> <p>②平和学習ガイドを活用した授業</p> <p>③戦争体験者や語り部による講話</p> <p>④資料やDVD等を活用した授業 など</p> <p>がなされている。</p> <p>○ 教育委員会としては、すべての小・中学校で、戦争遺跡・史料館の見学等において、バスを使った校外学習ができるようにしており、特にそのような体験的な学習の中で、鹿屋平和学習ガイドなどの専門家の協力を得ながら、本市の歴史等に係るより具体的な学習に努めてまいる。</p> <p>○ また、本年度4回目となる「平和の花束」は、九州管内から多くのメッセージが寄せられ、平和への強い思いが綴られたメッセージが数多く見られた。</p> <p>○ 戦争遺跡を実際に見学したり、戦争体験談を直接聞いたりする学習は、児童生徒が命や平和の尊さについて学び、平和を願う心情や態度を育てることにつながることから、今後もこれらの貴重な遺跡を活用し、より一層の平和教育の充実に努めてまいる。</p>			

2	【件名】 鹿屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略について	議員名	【個人】 山崎
<p>【質問の要旨】</p> <p>○ かのや学力向上プロジェクト事業やかのや英語大好き事業の評価をどのように捉えているか。</p> <p>また、子どもの基礎学力等の向上につながる対策をどう考えているか。</p>			
<p>【答弁の要旨】</p> <p>○ はじめに、「かのや学力向上プロジェクト事業」であるが、本市では、教職員の指導力を高め、児童生徒の学力を向上させるため、指導法改善に関する講演及び演習を行う授業力アップセミナーや研究校で研修を深める先進校派遣研修などを行っている。</p> <p>○ 児童生徒の学力の把握については、小学校6年生と中学校3年生を対象とした「全国学力・学習状況調査」、小学校5年生、中学校1、2年生を対象とした「鹿児島学習定着度調査」、小学校2年生から中学校3年生までを対象とした「標準学力検査」の3つがある。</p> <p>○ 総合戦略の中で位置付けられている本事業においては、全国平均を100とした場合、小学校は、平成28年度が93.9、平成29年度が97.0と全国との差が縮んできて</p>			

いる。中学校は、平成28年度が92.7、平成29年度が89.2であり、依然全国との大きな差があり、目標値の93.3に到達できていない。

- 教育委員会としては、授業力アップセミナーや先進校派遣研修の内容の充実を図るとともに、各校への指導主事等の派遣回数を増やしたり、県教育委員会が実施している研修会への参加や県総合教育センターの研修講座への参加を促進したりするなど、指導力の向上につなげてまいりたいと考えている。
- 次に「かのや英語大好き事業」は、グローバル化に対応した人材育成を目指して、小学校低学年から早期英語教育に取り組み、ALTや留学生と共に過ごすイングリッシュキャンプを実施し、今後も、充実及び拡充を図ってまいりたいと考えている。
- このかのや英語大好き事業や英検補助事業等を含む、本市総合戦略における英語教育の目標値を、中学校3年生の英検3級以上の取得率で設定している。
国、県の取得率はともに約20%前後であるが、本市においては、平成26年度は、17%であったが、平成28年度は、32%と向上しており、これまでの取組や補助事業の成果が現れたものとなっている。
- 今後は、これまで本市が、取り組んできた英語教育に関する研究実践を踏まえ、小学校英語の時数増や高学年の教科化、それに伴う中学校英語教育との円滑な接続など、平成32年度及び平成33年度から全面実施される新学習指導要領を先駆けて、実施していく予定である。
- 教育委員会としては、教職員の指導力の向上、ICTをはじめとする教育環境の整備を図るとともに、授業力向上を中心とした、大隅地区の拠点となる学校づくりを進め、市全体の研修体制を整え、児童生徒の学力向上につなげてまいりたいと考えている。

3	【件名】 幼児・児童・生徒の情操教育について	議員名	【個人】 岡元
<p>【質問の要旨】</p> <p>① 貧困という言葉が氾濫している。貧しくとも志が大切であり、感受性の高い人間性は読書から得るものが多い。「大空に生きる」「モモちゃんとあかね」など椋鳩十の図書を活用できないか。</p> <p>② 音楽は人の気持ちを和ませ、つらさや悲しみから生きようとする気持ちを育む。ベートーヴェン交響曲第6番「田園」やドヴォルザーク交響曲第9番「新世界より」などのクラシック音楽を恒常的に活用できないか。</p>			
<p>【答弁の要旨】</p> <p>① 小・中学生の時期に良書を読むことは、人の成長にとって大切なことだと考えている。 現在、小学校の国語の教科書には、椋鳩十先生の名作「大造じいさんとガン」や、新美南吉の「ごんぎつね」、今西祐行（すけゆき）の「一つの花」など、心に残る名作が掲載されており、学校では授業と平行して、同じ作家の作品等の読書を推進したり、秋の読書週間に図書室に「郷土の作家コーナー」等を設け、椋鳩十作品などを紹介したりしている。 教育委員会としては、今後とも本年4月に策定した「鹿屋市子ども読書活動推進計画」に基づき、市内全ての子供たちに読書の楽しさ、素晴らしさを味わわせ、進んで本を手にするような習慣を身に付けられるよう、読書環境の整備と指導の充実に努めてまいる。</p>			

② 小中学校の音楽科の目標は「豊かな情操を養う」ことであり、音楽の授業において、クラシック音楽を鑑賞する学習活動を、全ての学年で行っている。

お尋ねのクラシック音楽の恒常的な活用は、本市内のほとんどの学校で、登下校時や給食時間、作業時間等にクラシック音楽を流し、心豊かな子供の育成に努めている。

市教育委員会としても、「豊かな人間性」を育む教育は、人としての基礎をつくるものであると考えており、クラシック音楽をはじめ、優れた文化や芸術などに、子供たちが、恒常的に親しむことができるよう学習環境を整え、心豊かでたくましい子供たちの育成に努めてまいり。

4	【件名】性同一性障がい等について	議員名	【個人】児玉
<p>【質問の要旨】</p> <p>① 小中学校におけるLGBTの児童生徒への配慮については、どのように考えるか。</p> <p>② 文部科学省が教職員向けに出した「性同一性障がいや性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細やかな対応等の実施について」を受けて、具体的施策は進められたか。</p>			
<p>【答弁の要旨】</p> <p>① 当該児童生徒に対しての配慮については、学校生活を送るにあたって特有の支援が必要な場合があることから、児童生徒の心情等に十分配慮した対応が求められている。</p> <p>そのため各学校においては、日頃の学校生活の様子や教育相談等で、当該児童生徒や保護者の不安や悩みを共感的に受け止め、相談を受けた者だけが抱え込むことなく、校内にサポートチームをつくるなどして組織的に取り組んだり、専門機関と連携をとって取り組んだりしていくことが重要である。</p> <p>具体的には、トイレや更衣室、髪型、制服等、様々な配慮が考えられるが、例えば、トイレについては、多目的トイレ等を使用するなど、本人の意向を考慮すると同時に、他の児童生徒への配慮との均衡を計りながら対応していくなど、児童生徒の悩みに寄り添い支援していく必要があると考えている。</p> <p>② 性同一性障がい等に関する文部科学省の通知を受けての具体的施策について、教育委員会としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 各学校への通知文及び教職員向けの資料の周知 イ 管理職研修会での指導 ウ 専門家などの講師を招聘しての研修会 など <p>を行っている。</p> <p>また、学校においては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 職員への通知文書及び性同一性障がいに係る資料の周知徹底 イ 資料や本・新聞記事を活用した研修 ウ 講師を招聘しての校内研修 など <p>これらを通して、理解を深めるとともに支援の具体的方法等について共通理解し、全職員による体制づくりに努めている。</p> <p>教育委員会としては、児童生徒一人一人の人権がより一層尊重され、安心して学校生活を送ることができるよう、各学校を指導してまいり。</p>			

5	【件名】小中学校の空調整備状況について	議員名	【個人】眞島
<p>【質問の要旨】</p> <p>① 本市の小中学校における空調の整備状況をそれぞれの教室ごとに示されたい。</p> <p>② 今後の空調の設置方針について示されたい。</p> <p>③ 教育環境として不適応と思われる最高温度が40度近い教室があると聞くが、優先して空調設備を設置する考えはないか。</p>			
<p>【答弁の要旨】</p> <p>① 本市の小中学校における空調の整備状況については、平成29年度の工事終了時点で、空調整備率は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通教室 小学校81% 中学校70% 合計78% ・特別教室 小学校74% 中学校64% 合計69% ・管理諸室 小学校86% 中学校83% 合計85% <p>全体で78%の整備率となっている。</p> <p>②③</p> <p>基本的な空調の設置方針としては、これまでどおり校舎の大規模改造や増改築工事に併せて、国の補助等を活用しながら整備を進めてまいる。</p> <p>一方、近年明らかに夏場の気温が上昇しており、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒などの健康維持や良好な教育環境の確保が必要であること ・空調整備を進める中で学校ごとの格差が懸念されること <p>などから、利用率の高い普通教室や管理諸室を始めとして、風通しの悪い教室など、特に室温の高い教室については、個別に対応していく必要があると認識している。</p> <p>今後も、引き続き計画的に整備を進め、学校ごとの要望、施設の状況を見極めながら、教育環境の改善に努めてまいる。</p>			

6	【件名】小中学校の学力向上に向けての取組について	議員名	【個人】永山
<p>【質問の要旨】</p> <p>○ 全国学力・学習状況調査等の統一したテストの結果を受けて、市内の小中学校での学力向上に向けての取組は、どのように行われているか。</p>			
<p>【答弁の要旨】</p> <p>○ 学力調査の目的は、児童生徒の実態を正確に把握し、指導方法を改善することで、授業を中心とした学習指導の充実を図ることである。</p> <p>現在、市内の学校において全校で実施している調査は、大きく3つある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1つ目は、「全国学力・学習状況調査」であり、小学校6年生と中学校3年生を対象として国語と算数・数学で実施しており、全国との比較が可能である。 ・2つ目は、「鹿児島学習定着度調査」で、県内全校の小学5年と中学1年・中学2年を対象として国語、算数・数学、社会、理科、英語について実施している。 ・3つ目は、全国標準と比較が可能な「標準学力検査」で、小学2年から中学3 			

年までの全ての学年を対象として国語、算数・数学、社会、理科、英語について実施している。

これらに加えて本市中学3年生では、学力向上や進路指導に生かし教職員の負担軽減を可能にする本市独自の中学校共通テストを実施している。

8月下旬に公表された、全国学力・学習状況調査については、小学校は、全国が64.2% (100) の通過率であるのに対して、本市は、62.3% (97.0) と全国との差が大幅に縮んでいる。

中学校は、全国が65.6% (100) の通過率であるのに対して、本市は、58.5% (89.2) と県の結果と同様に全国を下回っている。

児童生徒の学力向上には、「児童生徒の正確な実態把握」、「教職員の資質や能力の向上による指導方法の改善」、「教育環境の充実」の3つの柱が大切であると考えている。

特に、教職員の資質や能力の向上による指導方法の改善については、校内研修の充実はもとより、先進的な指導方法や他校の実践例について学ぶ研修を充実させていくことが必要だと考えており、

本年度の授業力アップセミナーは、昨年度より多い、市全体の20.5%の教職員の参加のもと実施した。

また、県総合教育センター主催の短期研修については、本年度、市内各校から平成27年度の2倍の303件の希望が出されるなど、年々増加傾向であり、授業改善に対する教職員の意欲が向上しているものと考えている。

教育委員会といたしましては、このような研修会への参加はもとより、ICT機器の整備として3年計画で、全ての普通教室などに電子黒板を導入したり、

中1ギャップを解消する小中一貫教育や開かれた学校を実現するコミュニティースクールの推進などに努めたりするとともに、授業力向上を中心とした大隅地区の研究の拠点となる学校づくりをすすめ、学力向上につなげてまいりたいと考えている。

7	【件名】学校の空調設備について	議員名	【個人】永山
【質問の要旨】			
○ 近年、夏場は記録的な高温が続いているが、小中学校においては、教室への空調設備の設置を急ぐべきではないか。			
【答弁の要旨】			
○ 眞島議員の②③に同じ			

8	【件名】市内小中学校の学校規模の適正化について	議員名	【個人】西菌
【質問の要旨】			
① 大規模校と小規模校の良さがあると思うが、メリット及びデメリットを示されたい。			
② より良い教育環境づくりに向けて、将来的に校区割の変更などは考えられないか。			

【答弁の要旨】

- ① 大規模校のメリットとしては、
- ・集団の中で、多様な考え方に触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、一人ひとりの資質や能力を伸ばしやすい。
 - ・クラス替えがしやすいことなどから、豊かな人間関係の構築や多様な集団形成が図られやすい。
 - ・運動会など学校行事や音楽活動等の集団教育活動に活気が生じやすい。など
- があり、
- また、デメリットとしては、
- ・全教職員による各児童・生徒一人ひとりの把握が難しくなりやすい。
 - ・学年を超えた異年齢集団での交流が不十分になりやすい。
 - ・学校行事や部活動等において、児童、生徒一人ひとりの活躍の機会を設定しにくい。など
- がある。
- 次に、小規模校のメリットとしては
- ・児童、生徒の一人ひとりに目が届きやすく、きめ細やかな指導が行いやすい。
 - ・異年齢集団での活動や地域との交流が図りやすい。
 - ・学校行事等において、児童、生徒一人ひとりの活躍の機会を設定しやすい。
- などがあり、
- デメリットとしては
- ・集団の中で、多様な考えに触れる機会や学びあいの機会が少なくなりやすい。
 - ・クラス替えが困難なことなどから、人間関係や相互の評価等が固定化されやすい。
 - ・運動会など学校行事や音楽活動等の集団教育活動に制約が生じやすい。などが挙げられ、大規模校、小規模校のそれぞれに良さや課題がある。
- ② 児童生徒数が年々増加している学校区について、これまでどおり、通学区域の見直しを行わない場合、
- ・今後更に教室不足が生じることから、増築等の工事が必要となり、
 - ・また、生徒指導等の面では、子どもたち一人ひとりに目がいき届きにくくなり、きめ細かな指導が難しくなることなどが懸念される。
- 一方、通学区域の見直しを行おうとする場合は、
- ・通学路の安全性の確保や通学距離、通学時間の延長等が懸念されること。
 - ・子供会や町内会など、地域コミュニティへの影響が大きいこと。
 - ・新たに児童生徒を受け入れる学校においても、校舎を増築しなければならないこと など
- があるが、児童生徒数は近い将来をピークとして、その後は減少に転じると予測されていることなどから、現在の施設の増改築による対応を考えている。
- いずれにしても、児童生徒数の推移や、各方面からのご意見等にも配慮しながら、大規模校、小規模校のメリットを最大限に生かしつつ、児童生徒に寄り添ったより良い教育環境の確保に努めてまいります。

9	【件名】 スクールソーシャルワーカーについて	議員名	【個人】 西菌
<p>【質問の要旨】</p> <p>○ スクールソーシャルワーカーの活動現状と課題について示されたい。</p> <p>○ 国の動向も考慮し、スクールソーシャルワーカーを今後、増員する考えはないか。</p>			
<p>【答弁の要旨】</p> <p>○ スクールソーシャルワーカーは、問題を抱える児童生徒の家庭への働きかけや関係機関等とのネットワークの構築、連携、調整の役割を果たすため、本県では平成23年度から、本市では平成25年度から配置を行っており、現在、鹿屋東中学校と第一鹿屋中学校の2校に、各1名ずつ配置している。</p> <p>活動状況については、平成28年度、計8校、約30人、延べ約500回の家庭訪問や相談等に対応しており、その内容としては、不登校や虐待等、本人や家庭に係るものが主なものである。</p> <p>本市のスクールソーシャルワーカーは、配置された中学校とその校区内の小学校を中心に活動しているが、他の小中学校からも要請を受け、可能な限り出向いて対応している。</p> <p>課題としては、不登校等、家庭と連携を図らなければ解決できない複雑で時間を要する事案が増加しており、全ての事案に丁寧に対応できない状況がある。</p> <p>現在、スクールソーシャルワーカーの配置状況については、全国の平均として、児童生徒1万人当たり1.5人の配置となっているが、文部科学省は「ニッポン一億総活躍プラン」等において、平成31年度までに全中学校へスクールソーシャルワーカーを配置することを目標としている。</p> <p>本市においては、様々な課題を有し、スムーズな学校生活を送れない児童生徒や家庭と学校をつなぐ役割をするマイフレンド相談員を既に全ての中学校区に配置し、様々な児童生徒の問題に対応しているが、議員が御指摘のように、学校だけでは解決できない多くの課題が増加するなか、スクールソーシャルワーカーの果たす役割は今後、一層重要性を増すと認識しているので、国の動向等もしっかり注視しつつ対応して参りたいと考える。</p>			

10	【件名】 鹿屋女子高等学校の活性化について	議員名	【個人】 繁昌
<p>【質問の要旨】</p> <p>① 鹿屋女子高等学校の卒業生が進路として、保育、介護、看護などの学校へ進学する際、人材確保の施策として修学資金など貸付制度創設は有効だと思うが、検討する考えはないか。</p> <p>② 鹿屋女子高等学校活性化推進委員会では、検討委員会で決めたことを話し合うだけで、後は要望等に終始した。このまま進めていくのか。</p>			
<p>【答弁の要旨】</p> <p>① 現在、本市では、経済的理由によって修学困難な方を対象に、奨学資金の貸与を行い、有用な人材育成の支援を目的とした「鹿屋市奨学資金」制度を実施している。</p> <p>本制度は、貸付時に学力・所得要件等はあるが、保護者が3年以上市内に在住する方で、保育・介護及び看護等を含む全ての分野における高等学校、高等専門学校や専修学校専門課程、大学等の生徒及び学生を対象としている。</p> <p>議員御提案の保育・介護・看護等に特化した新たな貸付制度創設についても、この現行制度にて対応可能であることから本制度を有効に活用していただけるよう、より一層の制度周知を図っていきたいと考えている。</p>			

② 鹿屋女子高等学校については、平成28年度に、外部委員からなる検討委員会を設置し、活性化案の取りまとめを行い、昨年11月、議会全員協議会において議員の皆様への御説明を経て、同年12月、「鹿屋女子高等学校みらい創造プラン～活性化基本方針～」として、定例教育委員会で正式に決定した。

基本方針では、鹿屋女子高等学校は、今後も大隅全域の女子教育の受け皿として、次代を担う女性人材の育成を目指し、市立の女子高として発展させていくこととしており、新たなカリキュラム構成としては、

- ・普通系、家庭系、商業系の3学科を基本とすること。
- ・多様な進路希望を実現するために総合選択制を導入すること。
- ・地域人材を活用し、より実践的で専門的な学習を行うこと。

を定め、また、新校舎の建設については、

- ・財政面、立地面、作業工程等から現在地に建設すること。
- ・1号棟、2号棟、武道場を解体し、一体的に新築すること。
- ・機能性、先進性、開放性、安全性を確保すること。

などを定め、女子高活性化に向けた骨格を決定した。

これらを踏まえ、本年度から、活性化に向けた具体的な取組が、いよいよスタートすることから、今回、学校評議員や同窓会、地元関係者、地元中学校校長、教職員、県教育委員会で、構成する「鹿屋女子高等学校活性化推進委員会」を9月5日に開催した。

第1回の推進委員会においては、

- 将来の多様な進路につながる総合選択制を十分に研究して実施すること。
- 自習室を備えた図書室等の整備を検討すること。
- 保護者等も利用できる駐車場の確保に努めること。
- 女性に配慮した身だしなみを整える空間を検討すること。
- 工事期間中の学校行事や部活動への対応を行うこと。

など、新校舎に期待する意見や、新校舎完成までの工事期間中の対応等を含め、様々な意見が出された。

なお、本年度は、この活性化基本方針に基づく具体的な取組として、ソフト面では、本年4月から、

- ・地域人材を活用したキャリア教育の実施
- ・ホームページのリニューアルやSNSを活用した女子高の魅力の積極的発信
- ・時代に対応したICT教育の推進として電子黒板の導入等

を順次、実施している。

ハード面では、6月議会において、新校舎整備に係る設計業務の予算を計上し、8月末には設計業者が決定したことから、現在、本格的に校舎建設の基本設計に着手している。

教育委員会としては、この推進委員会を、今後も年内にあと2回程度開催し、委員の皆様のご意見を十分に取り入れながら、設計・施工に反映させるとともに、先に決定した活性化基本方針の実現に向けて、魅力ある学校づくりに、より具体的に取り組んでまいりたいと考えている。

報告(2) 鹿屋女子高等学校活性化推進の取組状況について

会議名	第1回 鹿屋女子高等学校活性化推進委員会		
開催日時	平成29年9月5日(火) 午後2時から午後3時48分		
開催場所	鹿屋女子高等学校 視聴覚室	記録者	郷原
委員等出席者	(委員) 孤杉委員、村田委員、遠矢委員、森山委員、河原委員 久保委員、小川委員、塩満委員、西村委員、高吉委員 (オブザーバー) 柳生氏、福満氏他10人、木口氏、高村氏、東田氏		
事務局等出席者	川畑教育次長、深水教育総務課長、中山学校教育課長、林校長 岩元教育総務課長補佐、新地事務長、東郷施設係長、 山口改革係長、郷原主査、有馬指導主事、今熊主任主事		
傍聴	市来議員、今村議員、繁昌議員、東議員、福田議員、別府込議員 (文教福祉委員会6人)		
概要	<p>◇ 会の目的</p> <p>「鹿屋女子高等学校～みらい創造プラン～活性化基本方針」に基づき、活性化策を推進するため、特色ある取組及び魅力ある学校づくりについて多角的に検討し、教育委員会へ意見提案を行うもの</p> <p>◇ まとめ</p> <p>【委員長及び副委員長選出について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 孤杉委員(教頭)が委員長に、遠矢委員(PTA会長)が副委員長に選出された。 <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 総合選択制は良い取組なので、先進校を研究した上で、実施してほしい。 ○ 保護者等の利用できる駐車場を確保してほしい。 ○ 自習室を備えた大きな図書館などは魅力的である。 ○ トイレや大きな姿見など、女子が自然とみだしなみを気にするような設備を設置してはどうか。 ○ 女子中学生は、吹奏楽部に入っている生徒が多いので、吹奏楽部を作ってはどうか。 <p>【第2回活性化推進委員会について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 10月23日(月)～25日(水)のいずれかの日に開催 ○ 必要と思われる調査等については、事務局に連絡してほしい。 ○ 第1回委員会の報告、新校舎の配置案を基に意見交換を行う。 		

※校舎配置(案)は委員会当日にお配りします。

鹿屋女子高等学校活性化推進委員会 委員等一覧

No.	区分	氏名	所属・役職	備考
1	学校関係者	孤杉 勉	鹿屋女子高等学校・教頭	
2		村田 寿章	鹿屋女子高等学校・教務主任	
3		遠矢 尚美	鹿屋女子高等学校・PTA会長	
4		森山 まゆみ	鹿屋女子高等学校・学校評議員	
5		河原 多美子	鹿屋女子高等学校同窓会・会長	
6	地域代表	久保 健太郎	市PTA連絡協議会・会長 ㈱総合印刷・代表取締役	
7		小川 あゆみ	西原小学校保護者 Lotta Photo・カメラマン	
8		塩満 喜美子	鹿屋市内で働く卒業生 有限会社スカイピーシー WEB制作担当	
9	中学校代表	西村 真	第一鹿屋中学校 校長	
10	県教委	高吉 光浩	鹿児島県教育委員会大隅教育事務所 総務課長	

(オブザーバー)

氏名	所属・役職	備考
柳生 成彦	シーズプロデュース株式会社 ・代表取締役	鹿屋女子高活性化 アドバイザー
福満・新留・伊野・川原特定設計業務共同企業体		設計業務落札業者
木口 瑞穂	鹿屋女子高校・普通科主任	
高村 淳	鹿屋女子高校・情報ビジネス科主任	
東田 祥子	鹿屋女子高校・生活科学科主任	

報告(3) 看護専門学校^の職員採用について

看護専門学校専任教員に係る採用計画について

1 職員採用の取組に関するこれまでの決定事項

(1) 行革総括会議（平成25年9月2日）

- ・平成26年度から平成28年度に各1人の正規職員の採用を基本とする。
- ・平成27年度以後は、退職者の状況や民間譲渡の動向を勘案し、各年度に開催される職員採用試験委員会及び関係課協議を踏まえて方針を決定することとする。

(2) 採用試験委員会（平成29年4月26日）

- ・平成30年度採用試験では、29年度末に退職者が1名見込まれることから、正規職員1人を採用する。

2 専任教員の体制（平成29年4月1日現在）*専任教員8人の正規配置が厚労省基準

	校長	副校長	専任教員		実習指導 (嘱託)	合計
			正規	嘱託		
配置数	1	1	8	0	1	11

3 今後の採用計画

(1) 副校長

退職・・・専任教員8人の中から副校長へ抜擢

(2) 専任教員

1人採用予定

【専任教員採用計画】

年度		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36
正規	教員	5	6	5	6	8	8	8	8	8	8	8
	減	△1	△2	—	—	△1	—	△2	△1	—	—	—
	増	2	1	1	2	1	—	2	1	—	—	—
小計		6	5	6	8	8	8	8	8	8	8	8
嘱託	教員	2	3	2	—	—	—	—	—	—	—	—
合計		8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8

4 採用までのスケジュール

時 期	実 施 項 目
H29. 10. 10	・第1回採用試験委員会の開催
H29. 10. 27	・広報かのやによる試験案内 ・採用試験の公告(10/27～)
H29. 10. 30～H29. 11. 20	・募集受付
H29. 11. 26	・採用試験の実施(小論文及び面接)
H29. 12中旬	・第2回採用試験委員会の開催
H29. 12中旬	・採用予定候補者の決定及び通知
H30. 1 上旬	・採用内定通知
H30. 2 以後	・採用に向けた面接の実施 ・採用決定通知
H30. 4. 1	・新規採用辞令交付

報告(4) 学校における芸術鑑賞事業について

文化のまち鹿屋魅力アップ（学校芸術鑑賞）事業

1 「演劇」体験ワークショップ＜松永太郎氏＞【申込数 1校 ⇒ 実施 1校】

学校名	実施単位	人数	開催日時
大始良中学校	全校	205人	実施済（9月20日）

2 「音楽」マリンバ・パーカッションアンサンブル＜プリズム＞【申込数 4校 ⇒ 実施 2校】

学校名	実施単位	人数	開催日時
吾平中学校	全校	211人	実施済（10月3日）
祓川小学校	全校	78人	実施済（10月4日）

3 「音楽」ミュージシャン＜野田かつひこ＞【申込数 1校 ⇒ 実施 1校】

学校名	実施単位	人数	開催日時
花岡中学校	全校	74人	11月7日 14:25～16:15

4 「能楽」観世流能楽師＜梅若泰志氏＞【申込数 5校 ⇒ 実施 3校】

学校名	実施単位	人数	開催日時
上小原中学校	全校	106人	11月29日14:15～
上小原小学校	学年（6年生）	32人	上小原中と同時開催
細山田小学校	学年（5・6年生）	76人	11月30日10:40～

5 「演劇」サクラが行く＜人形芝居ひつじのカンパニー＞【申込数 2校 ⇒ 実施 2校】

学校名	実施単位	人数	開催日時
大黒小学校	全校	29人	平成30年2月7日 10:55～12:25
寿小学校	学年（3年生）	102人	平成30年2月8日 10:45～12:15

※ 全体実施予定校数 6校 ⇒ 9校で実施へ

1 「演劇」体験ワークショップ〈松永太郎〉

9月20日（水）9：45～

鹿屋市立大始良中学校 体育館

全校生徒：205名対象

※ 体験型ワークショップの特性上、理想は1時限（50分）の1クラス単位

※ 今回は、200名以上の全校生徒が対象のため、学年ごとに分けて対応

【時間予定】

①挨拶・出演者紹介・・・3分

②生徒協力による即興寸劇・・・10分

（生徒15人に単語を小さな紙に書いてもらい、それを出演者が時々拾ってセリフとして言い、即興で寸劇を完成させていく。）

③パントマイムの説明・お手本披露・・・3分

④パントマイムで職業を表現（生徒1人協力）・・・5分

⑤生徒を8人くらいずつの8～9班に分け、生徒一人一人が自分の将来就きたい職業をパントマイムで表現させてグループで発表・・・25分

⑥演劇をする上での注意及び最後の挨拶・・・4分

※上記①～⑥合計50分

○ 2校時：9：40～10：30（1年生）

○ 3校時：10：45～11：35（2年生）

○ 4校時：11：45～12：35（3年生）

挨拶 (ワークショップ開始)



即興寸劇 (開始)



パントマイムで職業を表現
(生徒実演)



パントマイムで自分の夢を表現
(グループ毎)



2

マリンバ・パーカッションアンサンブル

プリズム

Prism



岩崎 雅子

(いwasaki masako)
福岡県中間市出身。

東京音楽大学器楽科打楽器専攻卒業。

第17回日本打楽器協会新人演奏会グランプリ受賞。

'02年'10年北九州市立響ホールにて「パーカッションリサイタル」を開催。フリーの打楽器奏者として、九州交響楽団の客員出演など、オーケストラ、ソロやアンサンブル活動のほか、後進の打楽器の指導も行っている。

日本打楽器協会会員。北九州音楽協会会員。

現在、福岡女子短期大学・西日本短期大学非常勤講師。

坂本 めぐみ

(sakamoto megumi)

くらしき作陽大学教育音楽学部卒業。

カワイ音楽教室勤務のち、現在、松田楽器打楽器講師、自宅にて音楽教室を主催、また吹奏楽、障害者支援施設での打楽器指導にも携わる。西日本打楽器協会会員、

北九州音楽協会会員、
木琴協会会員

村岡 慈子

(むらおか ちかこ)

くらしき作陽大学卒業。

打楽器の可能性を探るべく、ソロからオーケストラまでのびのびとした演奏活動を行っている。

また、パーカッションアンサンブルの作・編曲も手がけ、そのテーマや見た目にも面白い作品に定評がある。歌人「柳原白蓮」の一生を綴った音楽物語を作曲・初演し、好評を博した。劇団四季「ライオンキング」にも出演。マルチピアニスト岩崎大輔氏と韓国DAEGUの国際ジャズフェスティバルに招待される。

パワフルでダイナミックなコンサート！
華麗なスティックさばきにご注目ください☆

【プログラム】

全速力で疾走！

- 道化師のギャロップ/カバレフスキー

4本マレットの妙技

- 白鳥/サン・サンス

マリンバの周りを飛び回る

- 熊蜂の飛行/リムスキーコルサコフ

えっ？こんなものが楽器？

- シンコペイティッドクロック/アンダーソン

あたたかい響き

- ふるさと

体だけを使った音楽

- ロックトラップ

チャイナ・シン・コーナ

3・2 のラテンのリズムに挑戦！

- マンボ No. 5

打楽器アンサンブルの醍醐味！

- 剣の舞/ハチャトゥリアン

など

曲のお話や、楽器の紹介を交えながら進行いたします。

挨拶（演奏開始）



マリンバを動かしながら演奏



生徒も協力しての演奏



ボディパーカッション披露



3 野田かつひこ (NODA KATSUHIKO)

【PROFILE】

～そこに生きる人の暮らしを 夢を 時代を
命を 人の思いを 絆を 愛を歌う～

福岡県久留米市三潴町生まれ。

国内外でのライブ活動を経て吉本興業福岡
音楽部門より九州初のミュージシャンとして
「よかやんね」で CD デビュー。

各地でのコンサート活動を中心に、劇音楽の
制作やラジオ番組、随筆活動と 幅広く活躍しているアーティスト。

自らの足で各地をめぐり、そこに暮らす人々の思いや命の輝きを歌にするスタイル
が自然に出来上がり、2005年の福岡西方沖地震では被災した玄界島の応援歌「僕の
ふるさと玄界島」を作曲。2007年からは重症筋無力症と闘うファンの方との出逢いから
「さまざまな命の物語」と題し、命をテーマにしたコンサートを各地で毎年開催
している。また、廃校目前の中学校の生徒たちの思いを歌にする取り組みを行い、
それを取材した番組は日本ケーブルテレビ大賞番組アワード最優秀賞を受賞し、作
曲した曲「加志々が好きなんだ」は2014年3月に歌碑が建立された。

2015年には福岡県久留米市の「くるめふるさと大使」に任命され、活動の幅が徐々に広がっている。

鹿児島県とのつながりでは、2012年に鹿児島県長島町諸浦島の本浦小学校に文部科学省の「次代を担う子どもの文化芸術体験事業の一環で、ふるさとの歌作りのワークショップを開催。児童とともに「だんだん！諸浦島」を制作、KTS鹿児島テレビがドキュメンタリー化。

翌年、鹿児島県さつま町柊野小学校の子どもたちの思いをくみとった歌、「柊野物語」完成。

他にも「大好きな田ノ浦」田ノ浦小学校の子どもたちとの歌作りワークショップで生まれた歌（志布志市）や「風の杜のうた」風の杜こども園園歌（鹿児島県出水郡長島）などがある。



4

11月29日 14:15～16:05

上小原中学校

全校生徒と上小原小学校6年生、合わせて140名くらい

14:15	挨拶（出演者紹介）	2分
	鹿屋市の「能」愛好会の皆様による実演 謡「高砂」	3分
	能の舞の実演（舞 謡 囃子） 熊野クセ	3分
	能の装束付けと能の説明 （唐織着流、鬘を触らせ、装束を見せてから、男子生徒に着ける）	15分
	摺り足の体験 上履きを脱ぎ靴下になり、子ども達全員で体験。最後は大鼓に合わせる	7分
14:45	能面の体験 クラスの代表の子ども1名、計5名に能面をつけて摺り足をしてもらいます 体験を終わった子どもには感想を聞きます	5分
	囃子の説明と大鼓と小鼓の体験（三地のみ）	15分
15:05	休憩	10分
15:15	謡の体験 謡「高砂」を子ども達全員で謡って頂きます	10分
	謡「高砂」と囃子を合わせる 謡い、囃子を生徒にしてもらいます	10分
	大鼓と小鼓の体験（ツツケ） 時間があれば、別の手に挑戦してもらいます	5分
	能の動き（型）の説明	10分
15:50	舞の実演 「敦盛」の実演（2年生の秋に国語で敦盛の最期を学習） 「さても如月」ヨリ、中之舞は立廻りの様にします	10分
	子ども達からの質問や感想など	5分
16:05	終了予定	

参加者	かんぜりゆう	うめわかやすし	
	観世流 シテ方	梅若泰志	
	かんぜりゆう	はせかわはるひこ	
	観世流 シテ方	長谷川晴彦	
	たかやすりゆう	おおつつみかた	しらすかやすゆき
	高安流	大鼓方	白坂保之
	ちようようかい		
	鹿屋 長 燐 会(謡曲愛好会)	6～8名くらい	

※ マイク2本、電熱器（電気ストーブ）、着替えをする場所をご用意下さい。

4 11月30日 10:40～12:10

細山田小学校

5, 6年生、合わせて80名くらい

10:40	挨拶 (出演者紹介)	2分
	鹿屋市の「能」愛好会の皆様による実演 謡「高砂」	3分
	能の舞の実演 (舞謡囃子) 熊野クセ	3分
	能の装束付けと能の説明 (唐織着流、鬘を触らせ、装束を見せてから、先生に着ける)	15分
	摺り足の体験 上履きを脱ぎ靴下になり、子ども達全員で体験。最後は大鼓に合わせる	7分
11:10	能面の体験 クラスの代表の子どもに能面をつけて摺り足をしてもらいます 体験を終わった子どもには感想を聞きます	5分
	謡の体験 謡「高砂」を子ども達全員で謡って頂きます	10分
11:25	休憩 10分	
11:35	囃子の説明と体験	15分
	能の動き(型)の説明	5分
11:55	舞の実演 「屋島」の実演 「知者は感わず」ヨリ	10分
	子ども達からの質問や感想など	5分
12:10	終了予定	

参加者 かんぜりゆう 観世流 シテ方 うめわかやすし 梅若泰志
かんぜりゆう 観世流 シテ方 はせがわはるひこ 長谷川晴彦
たかやすりゆう 高安流 おおつづみかた 大鼓方 しらさかやすゆき 白坂保之
ちようようかい 鹿屋長燐会(謡曲愛好会) 6～8名くらい

※ マイク2本、電熱器(電気ストーブ)、着替えをする場所をご用意下さい。

